「おおいた県産魚の日」運営委員会は、11月1日、大分市公設 卸売市場において、かぼすブリの旬入り宣言式を行った。

山上運営委員会、渕野大分県農林水産部長の挨拶につづ き、中根組合長が旬入りを宣言、塩手和幸大分市水産物小売 商業協同組合理事長が頑張ろうを唱和し、今シーズンの販売が

出荷は3月末までで、昨年(591トン)よりも多い約15万尾(691 トン)を見込んでいる。





れぞ業ののに文北ら者が児で如 対てれの山吉 、准海見問 、島 、何

受業外に論グ発際本永新教道み題そ大趣に年



たけて1

たっ1

意大月

見分1

交県日

会産水 業産

がの会

開発館

催展に

さにお れ向い

換水

向大

け分

た県

意水

見産

交業

換の

会発

展

何今

JF大分

2025年 12月

184号

発行元 大分県漁協

http://www.jf-oita.or.jp/



要あ者に一漁 なるの就度業討てれの山吉





休入すに興でル表に裕和規授大えをの学旨確の 様日れる出味は | し感太広就が学る考後の説保テ々確にほてが、プたじ郎さ業講大課え「鳥明・ | な保消う経あ就討後たさんし演学題る日居を呼マ 意や極が験る業論`こんとたし院~~本享特びは 見省的良をかのを 5 とが下香たの」就漁司別寄「 が力ない積な決行つ」「入々。佐と業業准顧せ後 出化地、んいめっにを漁津地さ々題構の教問る継 たが区就だか手た分そ業支支ら木し造後授のか者。必も業後、は。かれ就店店 貴、か継 鹿」を

水本博昭さん(下入津支店)が 「大分県功労者表彰」を受賞

11月3日、レンブラントホテル大分においてR7大分県功労者表彰式が開催された。 今年度、地方自治や地域振興など各分野で功労のあった個人68名と12 団体が受賞 し、うち水産関係功労者として下入津支店の水本博昭さん(77才

大分県モジャコ生産協議会会長)が受賞されました。 おめでとうございます。

【功績概要】

大分県モジャコ生産協議会の代表として、特に鹿児島県への 入漁に尽力し、平成28年3月に同県モジャコ生産漁協協議会と 「鹿児島県もじゃこ漁業操業等に関する協定書」を締結したこと で、安定したモジャコの供給や安全操業を実現し、本県のブリ 養殖に貢献した。

定置網漁業、モジャコ漁業、シマアジ養殖漁業を長年営み、 地域漁業をけん引。現在は従業員として後継者の育成等にあたる。

平成13年6月から地区漁業副運営委員長を20年務め、支店の運営に尽力。平成20年8 月から第19期大分海区漁業調整委員会委員として漁業権の免許等に係る審査や隣県 との漁業調整等の審議を行い、大分県の水産業の発展や漁業秩序の維持に寄与した。 地域づくり団体「たかひらの会」会長、会員として、たかひら展望公園のじぎく祭りの実 施など地域活性化活動にも尽力した。



水本博昭さん

# 鳴海盛彦さん (上入津支店)が 「漁協系統功労者表彰」

鳴海盛彦さん(上入津地区漁業運営委員 長)が、JFグループの模範として漁業協同組 合系統運動の推進及び発展に功労があった

として、2025年度の漁協 系統功労者(漁協運 動功労者)に選ばれた。

表彰式及び祝賀会は 11月19日、東京都の 如水会館において開催 され、鳴海さんが出席さ れました。

おめでとうございます。 益々のご活躍をお祈り します。



鳴海盛彦さん

### 本店総務課の 野田翔子さんが 水産業協同組合 監査士試験に合格

水産業協同組合監査士とは、漁協の 財務監査や業務監査を担当し、適正な 経営と組合の透明性を確保する役割を 担う資格。

本年度第1回の試験が9月29日、30 日の2日間、監査・簿記・法規・会計学・ 協同組合論の5科目で実施された。11 月11日に結果発表があり、本店総務 部総務課の野田翔子さんがみごと合格 しました。

今回の試験は全国の漁連、信漁連等 の44名が受験し10名が合格しました (合格率22.7%)。おめでとうございま す。益々の活躍を祈念申し上げます。

### 理事会を 開催

11月7日、第6回の理事会が開催され、以下 の議案について、提案があり、審議の結果、 可決された。

#### 【議案】

第1号議案 組合員の異動について

→計24名の組合員の異動(新規加入、 資格変更等)について承認された。

・第2号議案 マネロン対策にかかるリスク 評価 書およびリスク統括表の改正について

→金融庁から指導を受け、10月1日付け でリスク評価書、リスク総括表を改正するこ とについて承認された。

·第3号議案 経営基盤強化支援事業 (合併JF支援型)事業申請書提出について

→本県漁協の経営改善を目指し、国の 「漁協経営基盤強化対策支援事業」を活用 するため申請書を全漁連に提出することに ついて承認された。

また、【協議報告事項】については、以下の 報告があった。

① 口座開設時審査の厳格化対応に向けた 周知及び対応について

→JFマリンバンクの口座開設時審査の厳 格化のため1か月以上前にHP等で周知する

- ② マネロン等の防止にかかる取組状況 →2025年9月末で疑わしい取引は無し
- ③ 常例検査について
- →本検査が年明けに実施される予定
- ④ 余裕金の運用状況報告について

いいペ限る着てへもかはにセえな寒 °°-1ら、ない。そしな取-1をつさ 整スれけいな家のていりりくしたを感覚したど。い人はよりまします。 しかス果て後年のがもこんっ衣に も着奥らしと手た替

後 記

## 農林水産業関係団体合同人権啓発研修会 開催

11月25日、大分市の大分県教育会館において、令和7年度の大分県農林水産業関係団体合同人権啓発研修会が開催され、 約110名が参加した。

今回は大分県人権教育・啓発推進協議会人権啓発講師のマックビーン光子氏が講師として「一人ひとりが尊重される社会を目指して~部落差別・外国人の人権問題など~」の演題で講演を行った。

講演は4つの大きな内容で構成され、

「1 人権とは」では1948年の国連総会で世界人権宣言が採択され、日本国憲法にも記載されており、おかすことのできない権利として保証されていることなどを、

「2 部落差別問題(同和問題)」では、身分制度が古代から存在することなど歴史的経緯やこれまでに起こった事件などが説明され、

「3 外国人の人権問題」では、ヘイトスピーチや外国人技能実習制度の説明と在留外国人や外国人労働者数が年々増加している状況等を

「4 差別をなくすためにできること」では、誰もがアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見、思い込み)を持っており、マイクロアグレッション(悪意はなくても相手を傷つけるような言動)が誰かや何かを決めつけ、傷つけていないかなどが説明された。

最後に、令和4年3月に施行された「大分県部落差別等 あらゆる不当な差別の解消等に取り組む人権尊重社会 づくり推進条例」などの説明もあった。







マックビーン光子氏

司会・進行は県漁協 漁政課職員

## 特殊詐欺の被害が増えています。ご注意ください。

以下は、県農林水産部の依頼を受けて掲載しています。※データは大分県警察本部



